

12/13 (金)

牧者となつてくださる小羊

ヨハネの黙示録七章一〜17節

玉座の中央におられる小羊が彼らの牧者となり 命の水の泉へと導き 神が彼らの目から涙をことごとく 拭ってくださいるからである。」(17)

第七の封印が解かれる前に、全ての神の民が礼拝をささげる様子が記されています。一人のみ使いが神の印をもって現れ、神の僕らの額に印を押します。この印は、この者は確かに神の所有とされたということを保証する印です。地上の苦しみを経て天に凱旋したそのような者たちに、大きな慰めの言葉が語られます。彼らは牧者なる主に養われる羊となります。その牧者は、危険があると羊を置き去りにして逃げてしまうような牧者ではなく、私たちのために命をも捨ててくださった方です。さらに、神の僕たちの目から涙を拭ってくださいる方でもあります。そのような牧者に養われるという約束は、迫害に苦しんでいた教会にとり、どんなに大きな慰めと励ましを与えたことでしょうか。ヨハネと共に、私たちに約束されているこの天の世界に目を上げようではありませんか。